

平成25年度計画の構成

平成25年度計画の概要

※(表中の<>内は目標指標)

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

1 市立病院として担うべき医療

□救急医療

・重症患者、地域医療連携医療機関からの救急要請、当院での専門医療を必要とする患者は断らない方針 <救急搬送応需率、救急搬送入院患者数>

・救急医の増員

・脳卒中受け入れ体制の整備

□小児医療・小児救急医療・周産期医療

・小児専門疾患の積極的な受け入れと、慢性疾患治療の充実

・周産期医療体制の充実に向けた、医療スタッフの確保・育成

・小児救急医療体制の充実、スタッフの育成

□感染症医療、災害その他緊急時の医療

・地域の医療機関と連携した感染防止活動

・災害時における関係機関との協力体制の強化

2 高度専門医療の提供

□がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応

・地域がん診療連携拠点病院の指定をめざした活動の充実

・(仮称)内視鏡・低侵襲治療センターを設置し、鏡視下手術割合を増加

<がん入院患者数、がん患者化学療法数・がん放射線治療延件数、がん診療地域連携クリニカルパス連携医(診療所)数>

・脳卒中受け入れ体制の整備による時間外の脳卒中患者の受け入れ

・心臓リハビリの充実

・心臓外科開設に向けたスタッフ育成

・糖尿病教育チームによる生活指導の充実

・糖尿病療養指導士の育成

□高度で専門性の高い医療提供

・内視鏡手術関係科の協力体制の構築、内視鏡技術習得者の育成

・形成外科による乳房再建術

□総合的な診療とチーム医療の推進

・臓器別専門診療科の枠を越えた総合的な診療、外科と内科の連携

□専門性及び医療技術の向上

・学会、発表会への積極的な参加や専門資格取得を推進

□臨床研究及び治験の推進

・各部門の治験受託を促進する活動

<治験実施件数、治験実施に係る受託金額>

3 安全・安心で信頼される医療の提供

□医療安全対策等の徹底

・患者誤認ゼロのための多面的対策の実施

・病棟薬剤師の業務拡充による医薬品安全管理の向上 <薬剤管理指導延件数>

・重大事故発生時に備えた院内シミュレーションの実施

□患者の視点に立った医療の実践

・他医療機関でのセカンドオピニオンを希望する患者への適切な対応

□医療の標準化と診療情報の分析による質の改善・向上

・DPCデータの活用、他病院との比較分析 <クリニカルパス適用率>

・クリニカルインディケータの作成、公表

□法令・行動規範の遵守(コンプライアンス)

・リスクマネジメント推進体制の検討

4 患者・市民サービスの向上

□患者サービスの向上

・病院全体で医療やサービスの質を持続的に向上させる活動(TQM)を推進

・患者の嗜好にも配慮した安全な給食の提供

・患者満足度調査の毎年度実施 <患者満足度調査結果>

□誰もが利用しやすい病院づくり(来院された患者が利用しやすい病院づくり)

・外国語に対応できる医療スタッフのリスト整備

□待ち時間の改善、職員の接遇向上

・患者待ち時間調査の実施

・外来診察の待ち時間表示

・適切な予約枠の運用、外来予約センターの開設

5 地域医療への貢献

□地域医療機関との連携推進、地域医療への貢献、人材の育成

・地域の医療機関との信頼関係構築(地域からの紹介患者や救急要請の受け入れ、紹介患者の優先診療)

・ITによる紹介患者の入院から退院までの情報管理 <紹介率、逆紹介率>

□疾病予防の取組

・新病院での健診機能についての方針検討

□保健福祉行政等との連携、市民への保健医療情報の発信

・堺市と連携した勉強会の開催 <市民公開講座等開催回数参加者数増>

第2 業務運営の改善及び効率化

1 業務運営体制の構築

□質の高い経営、事務経営部門の強化

・経営幹部による各部門長面接の実施

・診療科別・部門別分析、他院とのベンチマーク分析

・法人運営の中核となる人材の確保、育成

□業務改善に取り組む組織風土の醸成

・業務改善提案制度、予算策提案制度の活性化

2 優れた医療スタッフの確保

□優れた医療スタッフの確保

・専門資格を持つスタッフの確保

<専門看護師数、認定看護師数>

・公募の活用など医師の採用ルートの拡充

・新病院に必要な人材の計画的な採用

□教育研修の充実

・医師・研修医の海外派遣研修の実施

・働きながら学べる環境の提供

3 やりがいを感じる病院づくり

□意欲を引き出す人事給与制度の構築

・業績評価を含む人事評価の実施

□働きやすい職場環境の整備

・時間外労働の縮減など労働時間の適切な管理

・職員厚生会の設置

4 効率的・効果的な業務運営

□組織・診療体制・人員配置の適切かつ弾力的運用

・新病院に向けた診療科の再編整理や職員配置の検討

□予算執行の弾力化

・独法会計制度の活用

□医療資源の有効活用

・高額医療機器の稼働率向上

・現有機器の資産管理の仕組みの見直し

5 外部評価等の活用

□監査の活用、市民意見の活用

・監事や会計監査人による監査、内部監査の実施

・市民意見や院内業務従事者の意見を反映した業務改善

第3 財務内容の改善に関する目標

1 経常収支の黒字の達成

・収支速報の院内周知 <医業収支比率・経常収支比率>

2 収入の確保と費用の節減

□収入の確保

・救急受け入れ件数の維持 ・紹介患者数の増加、予定入院患者の増加による安定した入院患者の確保

・手術室の有効利用、麻酔科医の確保、全身麻酔増加による手術件数の増加

・内視鏡治療など高度専門医療の提供による診療単価アップ ・新病院施設整備のための寄附金の確保 など

<一般病床利用率、平均在院日数、診療単価(入院、外来)、手術件数・未収金徴収率>

□費用の節減

・委託契約の一元化 ・機器の機種標準化や消耗品の統一化、各科の共用 ・費用対効果を見極めた職員採用

<後発医薬品採用率・材料費対診療収入比率・経費対診療収入比率・職員給与対医業収益比率・労務費対

医業収益比率>

第4 その他業務運営に関する重要事項

1 わかりやすい情報の提供

□積極的な広報 ・創立90周年に合わせた対外的な広報活動

2 環境にやさしい病院づくり

・電気や空調温度の省エネ設定

3 新病院整備の推進

□確実な整備の推進 ・新病院建設工事の推進、職員宿舎建築工事の着工

□経費節減効果の確保 ・民間手法を参考にした発注方法による職員宿舎整備等のトータルコスト軽減

□新病院の機能充実に向けた計画的な準備 ・新病院に向けた診療科の再編整理や職員配置の検討(再掲)

□救急医療のネットワーク構築 ・病院・消防局・健康福祉局との三者会議で、管制塔機能整備に向けた協議

第5 予算、収支計画及び資金計画